



稲付中学校サブファミリー

～国際理解教育～

校長 名取 秀康

梅雨とは思えない猛暑が続いた6月も終わり、今日から7月です。本校の7月も忙しくなります。5組の進路講演会、道徳授業地区公開講座、2年生のEC那須、1年生の岩井臨海学園、そして、教育相談等様々な行事があります。熱中症対策を十分にいき、生徒一人一人が充実した学校生活を送れるよう支援してまいります。

さて、北区では義務教育9年間で滑らかに接続させるために学校ファミリーを基盤として小中一貫教育を進めております。稲付中サブファミリーは稲付中、梅木小、西が丘小、うめのきなこよしこども園の3校1園です。幼小中の教育内容の相互理解・教員の指導力の向上・小1問題・中1ギャップ等の課題の解消、さらに、国際社会に主体的に貢献する資質・能力を育てるための国際理解教育を取り上げています。とくに国際理解教育については研究授業の主題としており、力を入れています。今や観光大国日本といわれるほどに様々な国から観光客が来日します。目的は日本の四季折々の風情を感じられる自然、歴史的な重厚さを感じさせる神社仏閣、繊細で奥深い食文化、そしてアニメに代表されるサブカルチャー等でしょう。また、観光だけでなく日本の最先端の技術を学ぶためにたくさんの留学生が来日しています。外国人労働者もここ10年で110万人増えたという統計もあるようです。まさに日本において世界を感じることができるのが今の日本なのでしょう。

また、日本からも様々な分野（ビジネス、産業、研究、芸術、芸能、スポーツ等）でより高いレベルでの活躍を求めて海外へと進出しています。スポーツの世界ではすでに多くの種目で挑戦するというレベルにとどまらず、世界のトップアスリートとして活躍しています。30年前、男子小学生に将来の夢はと聞くと「プロ野球選手」と多くの子どもが答えていました。それが、今や「メジャーリーグで活躍したい」と答えます。

日本の国際化が進み子どもたちの夢も大きく世界へと広がっていくことに頼もしさを感じます。稲付中サブファミリーの園児、児童、生徒にも同じように夢を大きくもち世界へと羽ばたいてほしいと願っています。そのために多様性を重視した国際社会で主体的に貢献できる資質、能力を稲付中サブファミリーで育てていきたいと強く感じています。

<7月の主な予定>>

3	木	5組進路講演会	17	木	大掃除 面談(始)
5	土	土曜授業 道徳地区公開講座	18	金	全校集会 安全指導
8	火	2年EC那須 ~10日(木)	19	土	1年岩井臨海学園 ~21(月)
11	金	中央委員会	23	水	補充教室 ~25日(金)
16	水	非明協住民大会	31	木	面談(終)

<<新体力テスト>>

6月20日（金）本校、校庭、体育館、武道場を使って新体力テストが行われました。体育委員会が準備、片付けだけでなく、種目の説明を行ってくれました。体育委員会の皆さん、お疲れ様でした。新体力テストの結果が出たら各自で分析し、保健体育の授業や現在取り組んでいるスポーツ（運動部活動、クラブチーム）に生かしてほしいと思います。



<<小中連携引き渡し訓練>>

6月21日（土）に小中連携引き渡し訓練を行いました。北区公立学校では「震度5弱以上の地震が発生したとき」、「学校長が必要と判断したとき」には生徒を学校で留め置き保護者の皆様、または、それに代わる責任ある方に引き取りに来ていただくことになっております。今年度より万が一を想定し、兄弟姉妹がいる稲付中サブファミリー（稲付中、梅木小、西が丘小）合同で行うこととなりました。今回は初めての試みで不慣れな点があったと思いますが、来年度以降改善してまいります。保護者の皆様、代理の方におかれましては休日にもかかわらずご協力いただき、ありがとうございました。



<<5組那須宿泊学習>>

6月26日（木）から6月27日（金）に5組の生徒が那須宿泊学習に行ってきました。スローガンは「羽ばたけ！笑顔と学びの宿泊学習へLet's Go!」でした。台風の影響によりあいにくの天候でしたが、見学地、車中、しらかば荘では笑顔が絶えず充実した生活を送ることができました。他校の生徒ともたくさん交流ができました。

